



山口育児院だより

編集・発行 / 社会福祉法人 山口育児院 2017.11.第37号
 〒753-0082 山口市水の上町5-27 Tel 083-922-1027 Fax 083-922-2389
 e-mail y-ikuji@estate.ocn.ne.jp URL http://y-ikuji.sakura.ne.jp/

山口育児院では苦情解決の一つとして、「意見箱」を設置しています。これは子ども達からの不満や苦情を受け付けるもので、誰もが手紙やメモを書いて投書できます。この「意見箱」は施設長だけが開封できるようにしているのですが、いろいろな意見が入っています。「を買って欲しい」「芸能人に会わせて下さい!」「夕食のデザートのパナナが硬いのですが、どうすればいいですか?」等々。それらに対しても全て返事をするようにしていますが、中には職員にとって大変耳の痛い意見(苦情)が入っていることもあります。特に今年度4月以降、職員の児童に対する言葉遣いが悪いという苦情が多く出ており、その度に投書してくれた児童から話を聞いています。

土井高德先生が著書(思春期の子に、本当に手を焼いたときの処方箋33)の中で子どもをダメにする10の叱り方を述べておられます

- 1 口汚く責める
- 2 バカにする
- 3 脅す
- 4 一方的に命令する
- 5 説教が長い
- 6 過剰に警告する
- 7 親が被害者のふりをする
- 8 ほかの子と比較する
- 9 皮肉を言う
- 10 ネガティブな予言をする

そしてこれらの叱り方を「心理的虐待」と断言しておられます。己の胸に手を当てて考えると、いくつか思い当たることがあるので、ないでしょうか?

また、有名な言葉に次のようなものがあります。

やってみせ
 言ってみせ
 褒めてやらねば人は動かじ
 こころまでは皆さん知っているだ

子どもからの投書は、その内容を会議の度に職員に伝え、真剣に我が事として受け止め、虚心に反省するように確認しています。この「虚心に反省する」ことが、子ども達の「福祉」、「最善の利益」に繋がるのだということを忘れてはなりません。そのことを胸に留めて精進してまいりたいと思えます。

意見箱 ～子どもの苦情にどう向き合おうか?

武重俊之

ろうと思いますが、その続きは御存知でしょうか?

話し合い
 耳を傾け承認し
 任せてやらねば人は育たず
 やっている
 姿を感謝で見守って
 信頼せねば人は実らず

この言葉を、「子どもをダメにする10の叱り方」と併せて考え、果たして自分はどうだろうか?と自問自答する必要があるような気がしてなりません。



お月見 ～月とうさぎの物語～

うさぎ うさぎ
 なに見て跳ねる
 十五夜お月さん
 見て 跳ねる

中秋の名月、皆さんはお月見をしましたか?さて、歌にもあるように月とうさぎには深い関係があるのですが、その物語を御存知でしょうか?

昔、森に一匹のうさぎが住んでいました。うさぎにはカワウソと山犬と猿の友達がいました。ある日のこと、一人の旅人がやってきました。その旅人は飢えており、食べ物を通して欲しいとうさぎ達にお願いしました。カワウソは魚を、山犬は肉を、猿はマンゴーの実を採ってきて旅人に施しました。しかしうさぎはどうしても施すものが見つかりませんでした。そこで、うさぎは旅人に頼んで火を熾してもらい、「どうぞ私の焼けた肉を食べて下さい」と言ってお腹を炙り、赤な火の中に飛び込んだのです。

するとその旅人は帝釈天の姿となり、うさぎの施しの心が本物であることを認め、その優しい心と行いが世界中に広まるように月にうさぎの姿を映したといふことです。

かなり省略して記しましたが、如何ですか?これはジャータカにあるお話です。仏教の修行のひとつである布施行(施し)の中の「捨身施」を表しています。自ら命を施すというものです。現実にはなかなかそうはいきませんが、しかしそこまでのことは出来なくても、大事なことは自分の要らないものではなく大切なものを施すということ。執着を離れる修行だと言っても良いでしょう。

このお話を思い出しながら綺麗な月を見て、自分の心が美しく輝いているかどうか、振り返ってみませんか?



歩々清風

孔子は、人生で一番大切なことは「恕」であると言っています。それに続いて「己の欲せざるところ、人に施すことなかれ」と教えています。「恕」とは思いやりのことです。そして、自分がされたくないことは人にしてはいけなさと説いています。

その思いやりは、他人に向けることはもちろんですが、何より自分自身に向けることが大切です。それは決して自分を甘やかすことではなく、逆に自分を奮い立たせることです。自分に甘いと、「無理だ」「出来ない」と平気で口にするようになります。自分で自分を見限っていることになり、つまり自分自身に対して思いやりを持っていないということになります。

昨今、信じがたいような事件が頻発していますが、自分を見限ることなく大切にすることが足りていないのではないのでしょうか。(丁)

御案内

育児院では、地域の方々に施設を利用していただく為に、いろいろなサービスを実施しています。

トワイライトサービス

仕事の関係で帰宅が夜間になる方、お子さんの下校時より仕事終了時迄お預かり致します。

短期入所サービス

病氣、事故、出産等でお子さんの養育が難しくなった時等、短期間お預かり致します。

当院をご利用ご希望の方はお気軽にご連絡下さい。又ボランティアの受け入れもしております。

福祉に関心のある方、是非一度ご来院下さい。





音読の効用

小学生のためだけのものではない！

小学生は毎日宿題を持って帰ってきます。その宿題の一つに、必ずと言って良いほど音読があります。昔は音読というと、立つて姿勢を正して、教科書は両手で持つて前に構え、大きな声で読んだものですが、最近の子ども達はそうではないようです。教科書をまっすぐ持つこともままならず、声も小さく姿勢も悪い。こんな状態で音読をしてなにか意味があるのかと疑問に思い、音読について調べてみました。

音読には脳を活性化させる効果があるそうです。脳には前頭前野と言われる部分があり、判断力や思考力を司る重要な働きをしています。音読はその前頭前野を複雑に刺激しているのです。

音読は、文字を読み取る視覚と声に出してそれを聞く聴覚を使用しています。そして脳は、「文字を読み取る」「読み取った文字を理解する」「理解した文字(文章)を声に出して読む」「声に出した文章を聞く」「聞いた文章を理解

する」という複雑な処理を瞬時にこなしているそうです。多くの複雑な処理を同時に行うことで脳を刺激して、活性化されていくというわけです。音読に対して黙読というのがありますが、黙読の場合には視覚のみで聴覚は使用しません。つまり、文字を読み取って理解するという二つの処理で終わってしまっています。黙読が悪いわけではなく、視覚と聴覚を同時に使うことに意味があるのなら、音読するものは何でも良いのではないかといいことです。教科書に限る必要はないのではないのでしょうか。そう疑問を感じてさらに調べると、やはり何でも良いようです(笑)。しかし、音読には同時に内容が記憶に残りやすいという効果もあるようです。「見て読み取る(視覚)」「声に出してそれを聞く(聴覚)」という具合に内容が同時に2回脳

に意識させられるので、より記憶しやすいのだそうです。昔テスト勉強で暗記する時、声に出して覚えてたという人も多いのではないのでしょうか。そうであれば、何の意味もないものを読むよりも、大事なものや興味のあるもの、勉強に役立つものを読んだ方が得だと思えます。

また、音読には脳の活性化や記憶以外にも効用があるようです。なんと、音読には幸せホルモンでお馴染みの「セロトニン」を分泌する効果もあるんだそうです。それはつまり、ストレス解消にも役に立つということです。セロトニンはアンチエイジングにも効果があると知られています。脳の老化を防ぐ効果も期待できるかもしれません。

前頭葉は感情を制御する役割も持っており、さらには、コミュニケーション能力とも関係があるとされています。つまり、音読をすると感受性が豊かになり、自制心が養われ、積極性や自主性も身に

つき、コミュニケーション能力(社会性)も育っていくということです。

そう考えると、歌詞を目で追いつながら歌うというカラオケも楽しいだけではなく、一定の効果があるのかもかもしれません。もっと言えば、お坊さんが経本を見て大きな声で誦経することも、先祖供養だけではなく自らの健康の為にもなっているのかもしれない(笑)。

このように多くの効果がある「音読」を今一度見直してみても、その効用を知れば、取り組む意識が変わってくるのではないのでしょうか。

「音読」とは決して小学生のためだけのものではなく、我々大人こそ積極的にチャレンジしてみるべきかもしれません。



院内球技大会

今年も恒例の院内球技大会が行われました。例年キックベースボールやサッカー、バスケットを行っていたのですが、今年は少し趣向を変え、運動会のようなプログラムを企画しました。

パン食い競争やムカデリレー、玉入れ等、幼児から高校生まで楽しめるプログラムでしたが、中でも子ども達に人気があったのが「逃走中」です。某テレビ番組でお馴染みですが、鬼ごっこの規模を少し大きくしたような競技です。職員がサングラスをかけ、子ども達を追いかけいきます。「キヤー！」



今年も運動会だよ

と叫びながら逃げ回っている子ども達はとても楽しそうでした。それにしてもサングラスの鬼は怪しすぎます・・・。

その後も色別対抗リレー等で皆一生懸命頑張りましたが、最終結果は何と、同点でした！こんなことはめったにないことだと思いましたが、全員本当によく頑張ったので良い結果だったのではないのでしょうか。



みかん狩りに行ってきました！

防府市の西浦農協観光みかん園にみかん狩りに行ってきました。西浦農協観光みかん園様には毎年御招待を頂いており、子ども達も楽しみにしています。

児童10名、職員3名の計13名でお邪魔しましたが、当日は天気も良く、広大な農園の中でたくさんのおみかんを頂きました。これから冬になるとやはりみかんは必需品です。寒い日に部屋を暖めて食べるみかんは本当に美味しいです。本日はこたつに入って食べるのが

毎年恒例の行事はどうしてもマンネリ化してしまいがちですが、今年の球技大会は係の職員がアイデアを出し、工夫を凝らして企画したおかげで、子ども達も大喜びでした。また、毎年ボランティアで参加して下さるBBSの学生の皆さん、本当にありがとうございました。

幼児から大人まで、皆で楽しく過ごせた秋晴れの一日でした。

良いのですが・・・。

それと、意外と知られてないのですが、焼きみかんが美味しいです。焚き火をしながら網をのせて、その上でみかんを焼くと甘くなつてとても美味しくなります。表面の皮は黒くボコボコになりますが、皮をむくとあまり良い香りが出て、一口食べるとそれはもう・・・皆さんもぜひ試してみてください。もちろん冷たいみかんも美味しいのですが、焼きみかんはひと味違った美味しさがありますよ。



当日はその場でたくさん食べましたが、お土産にも本当にたくさんのおみかんを頂きました。これでこの冬は安心して年越しが出来ます(笑)。

今年の秋は天気が悪いことが多く、秋晴れの日は少なかったのですが、この日は本当によい天気でした。子ども達の日頃の行いが良かったのか、それとも晴れ男(女)がいたのか、そこは何とも言えませんが、御招待頂いたことに感謝をし、頂いたみかんを皆で仲良く食べたいと思います。

西浦農協観光みかん園の皆様、本当にお世話になりました。ありがとうございました。